

新ひだか町では、温暖冷涼な気候と豊かな自然環境を活用し、「ちょっと暮らし体験事業」等による滞在・移住の促進を図り、新たな人の流れをつくる取り組みを行っている。

## 関連数値目標・KPI

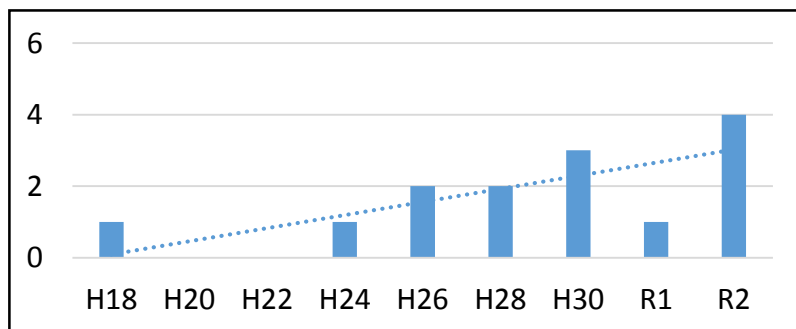
	基準値 (H30)	実績 (R2)	目標値 (R2)	進捗率 (%)
年間の移住世帯数	2	4	2	200

## 取組の推進体制

移住体験施設「ちょっと暮らし体験住宅」の運用を柱に、役場内のワンストップ窓口では、オンラインによる相談窓口を開設するなど相談体制を強化。移住検討者のライフステージに合わせたきめ細やかな対応を行っている。

また、移住された方が主体となり「新ひだか町暮らし・サポーターズ」を立ち上げ、官民連携による取組を効果的に推進。令和2年度からは、道と共同でワーケーションの受入推進にも着手した。

## 移住世帯数の状況



移住者は、近年増加傾向にある

## 取組事例

### 滞在・移住の促進に向けた取り組み

#### 「ちょっと暮らし体験事業」による滞在・移住の促進

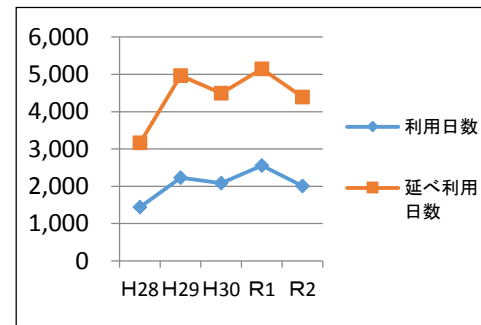
##### ○主な取組

- ・「ちょっと暮らし体験住宅」を10戸運用。
- ・最長1年間の長期滞在を可能とし、滞在中の就労や就学をサポート。移住へのイメージを具体化。
- ・ワンストップ窓口を設置し、移住等の相談に対し細やかに対応。

##### ○主な成果

- ・1年間の長期滞在者の増加に伴い、移住される方は増えている。また農業や医療など人手不足が深刻な分野において労働力の提供につながっている。

【ちょっと暮らし体験住宅利用実績(過去5年)】



#### 「新ひだか町暮らし・サポーターズ」による移住サポート

##### ○主な取組

- ・移住検討者に対し、移住に向けての情報提供や相談対応。
- ・体験移住者と先輩移住者の出会いと交流の場として定期的に「午後カフェ」を開催。最近は地域の事業者の参加も呼びかけ情報提供や意見交換等を行っている。

##### ○主な成果

- ・官民連携による移住サポートにより移住者が増加しているほか、積極的にまちづくりに参加する意識の高い移住者が増え、定住を後押ししている。

【令和3年度「移住・交流カフェ」の様子】

